

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公表番号】特表2013-542222(P2013-542222A)

【公表日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-063

【出願番号】特願2013-536597(P2013-536597)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	39/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/375	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)
A 6 1 K	31/352	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	31/385	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/353	(2006.01)
A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 K	31/355	(2006.01)
A 6 1 K	31/015	(2006.01)
A 6 1 K	31/047	(2006.01)
A 6 1 K	31/11	(2006.01)
A 6 1 K	31/122	(2006.01)
A 6 1 K	31/045	(2006.01)
A 6 1 K	31/01	(2006.01)
A 6 1 K	31/4172	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 K	31/4415	(2006.01)
A 6 1 K	31/426	(2006.01)
A 6 1 K	31/185	(2006.01)
A 6 1 K	31/616	(2006.01)
A 6 1 K	31/201	(2006.01)
A 6 1 K	31/205	(2006.01)
A 6 1 K	31/221	(2006.01)
A 6 1 K	31/19	(2006.01)
A 6 1 K	31/225	(2006.01)
A 6 1 K	31/202	(2006.01)
A 6 1 K	31/20	(2006.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	31/4402	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	31/30	(2006.01)
A 6 1 K	31/155	(2006.01)
A 6 1 K	31/121	(2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 K 36/00 (2006.01)
 A 6 1 P 17/18 (2006.01)
 A 2 3 L 1/30 (2006.01)
 A 2 3 L 1/302 (2006.01)
 A 2 3 L 1/305 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 39/06
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 3/04
 A 6 1 P 3/06
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 K 31/375
 A 6 1 K 31/05
 A 6 1 K 31/352
 A 6 1 K 33/24
 A 6 1 K 31/385
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 K 31/353
 A 6 1 K 31/198
 A 6 1 K 31/355
 A 6 1 K 31/015
 A 6 1 K 31/047
 A 6 1 K 31/11
 A 6 1 K 31/122
 A 6 1 K 31/045
 A 6 1 K 31/01
 A 6 1 K 31/4172
 A 6 1 K 31/675
 A 6 1 K 31/4415
 A 6 1 K 31/426
 A 6 1 K 31/185
 A 6 1 K 31/616
 A 6 1 K 31/201
 A 6 1 K 31/205
 A 6 1 K 31/221
 A 6 1 K 31/19
 A 6 1 K 31/225
 A 6 1 K 31/202
 A 6 1 K 31/20
 A 6 1 K 35/78 C
 A 6 1 K 31/4402
 A 6 1 K 31/192
 A 6 1 K 31/30
 A 6 1 K 31/155
 A 6 1 K 31/121
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 K 35/78 X

A 6 1 P 17/18
 A 2 3 L 1/30 Z
 A 2 3 L 1/302
 A 2 3 L 1/30 B
 A 2 3 L 1/305

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物における皮膚炎の予防又は治療のための方法であって、

- 1 種又は複数の抗酸化剤、
- 1 種又は複数の抗糖化剤、
- 1 種又は複数の体脂肪減少剤、
- 1 種又は複数のインスリン感受性増強剤、及び
- 1 種又は複数の抗炎症剤

の組み合わせの治療有効量を前記動物に投与するステップを含み、

前記抗酸化剤が、0.001～1000mg/kg/日の量で前記動物に投与され、

前記抗糖化剤が、0.001～1000mg/kg/日の量で前記動物に投与され、

前記体脂肪減少剤が、0.001～1000mg/kg/日の量で前記動物に投与され

、
前記インスリン感受性増強剤が、0.001～1000mg/kg/日の量で前記動物
に投与され、

前記抗炎症剤が、0.001～1000mg/kg/日の量で前記動物に投与され、

前記抗酸化剤が、ビタミンC、ポリフェノール、プロアントシアニジン、アントシアニ
ン、バイオフィラポノイド、セレン、アルファーリポ酸、グルタチオン、カテキン、エピカ
テキン、エピガロカテキン、没食子酸エピガロカテキン、没食子酸エピカテキン、システ
イン、ビタミンE、ガンマトコフェロール、アルファーカロテン、ベーターカロテン、ル
テイン、ゼアキササンチン、レチナール、アスタキササンチン、クリプトキササンチン、リコペ
ン及びレスベラトロールからなる群から選択され、

前記抗糖化剤が、カルノシン、ベンフォチアミン、ピリドキサミン、アルファーリポ酸
、フェナシルジメチルチアゾリウムクロリド、タウリン、アミノグアニジン、レスベラト
ロール及びアスピリンからなる群から選択され、

前記体脂肪減少剤が、共役リノール酸(CLA)、カルニチン、アセチルカルニチン
、ピルベート、多価不飽和脂肪酸、中鎖脂肪酸、中鎖トリグリセリド及びダイズイソフラ
ボンからなる群から選択され、

前記インスリン感受性増強剤が、クロム、ピコリン酸クロム、シナモン、シナモン抽出
物、シナモン及びマンサクのポリフェノール、コーヒーの実抽出物、クロロゲン酸、コー
ヒー酸、亜鉛源並びにブドウ種子抽出物からなる群から選択され、

前記抗炎症剤が、オメガ-3脂肪酸及びクルクミンからなる群から選択され、

前記動物がヒトを含まない、方法。

【請求項 2】

前記抗酸化剤が、ビタミンE、ビタミンC、カロテノイド、セレン、リコペン、アルフ
 ァーカロテン、ベーターカロテン、ルテイン及びゼアキササンチンからなる群から選択され
 る、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記抗酸化剤が、0.001～10 グラム日の量で前記動物に投与される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記抗糖化剤がカルノシンである、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 5】

前記抗糖化剤が、0.01～10 グラム日の量で前記動物に投与される、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 6】

前記体脂肪減少剤が、共役リノール酸（CLA）、カルニチン及びアセチルカルニチンからなる群から選択される、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 7】

前記体脂肪減少剤が、0.01～10 グラム日の量で前記動物に投与される、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 8】

インスリン感受性増強剤が、ピコリン酸クロム、硫酸亜鉛、モノメチオニン酸亜鉛及びブドウ種子抽出物からなる群から選択される、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 9】

前記インスリン感受性増強剤が、0.01～10 グラム日の量で前記動物に投与される、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 10】

前記オメガ-3 脂肪酸が、 α -リノレン酸、エイコサペンタエン酸、ドコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸、亜麻仁、亜麻油、クルミ、カノーラ油、小麦胚芽及び魚油からなる群から選択される、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 11】

クルクミン源が、（1,7-ビス-（4-ヒドロキシ-3-メトキシフェニル）-ヘプタ-1,6-ジエン-3,5-ジオン；1-（4-ヒドロキシフェニル）-7-（4-ヒドロキシ-3-メトキシフェニル）-ヘプタ-1,6-ジエン-3,5-ジオン；1,7-ビス-（4-ヒドロキシフェニル）-ヘプタ-1,6-ジエン-3,5-ジオン）、デメトキシクルクミン及びビスデメトキシクルクミンからなる群から選択される、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 12】

前記抗炎症剤が、0.001～10 グラム日の量で前記動物に投与される、請求項 1 ～ 11 のいずれか一項 に記載の方法。

【請求項 13】

前記組み合わせが、ビタミンE、ビタミンC、アルファ-カロテン、ベータ-カロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、セレン、リコペン、クロム、ブドウ種子抽出物、亜鉛、CLA、カルニチン、アセチルカルニチン及びカルノシンを含む栄養調製物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記組み合わせが、ビタミンE、ビタミンC、アルファ-カロテン、ベータ-カロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、セレン、リコペン、クロム、ブドウ種子抽出物、亜鉛、CLA、カルニチン、アセチルカルニチン、カルノシン、魚油及びクルクミンを含む栄養調製物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

前記組み合わせが、ビタミンE、ビタミンC、アルファ-カロテン、ベータ-カロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、セレン、リコペン、魚油及びクルクミンを含む栄養調製物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

動物における皮膚炎の予防又は治療、健康な皮膚の促進及び皮膚老化の遅延のために適した栄養調製物であって、

- 1 種又は複数の抗酸化剤、
- 1 種又は複数の抗糖化剤、
- 1 種又は複数の体脂肪減少剤、
- 1 種又は複数のインスリン感受性増強剤、及び
- 1 種又は複数の抗炎症剤

の組み合わせを含み、

前記抗酸化剤が、ビタミンC、ポリフェノール、プロアントシアニジン、アントシアニン、バイオフィラボノイド、セレン、アルファーリポ酸、グルタチオン、カテキン、エピカテキン、エピガロカテキン、没食子酸エピガロカテキン、没食子酸エピカテキン、システイン、ビタミンE、ガンマトコフェロール、アルファーカロテン、ベータカロテン、ルテイン、ゼアキササンチン、レチナール、アスタキササンチン、クリプトキササンチン、リコペン及びレスベラトロールからなる群から選択され、

前記抗糖化剤が、カルノシン、ベンフォチアミン、ピリドキサミン、アルファーリポ酸、フェナシルジメチルチアゾリウムクロリド、タウリン、アミノグアニジン、レスベラトロール及びアスピリンからなる群から選択され、

前記体脂肪減少剤が、共役リノール酸（CLA）、カルニチン、アセチルカルニチン、ピルベート、多価不飽和脂肪酸、中鎖脂肪酸、中鎖トリグリセリド及びダイズイソフラボンからなる群から選択され、

前記インスリン感受性増強剤が、クロム、ピコリン酸クロム、シナモン、シナモン抽出物、シナモン及びマンサクのポリフェノール、コーヒーの実抽出物、クロロゲン酸、コーヒー酸、亜鉛源並びにブドウ種子抽出物からなる群から選択され、

前記抗炎症剤が、オメガー3脂肪酸及びクルクミンからなる群から選択される、 栄養調製物。

【請求項17】

前記抗酸化剤が、ビタミンE、ビタミンC、カロテノイド、セレン、リコペン、アルファーカロテン、ベータカロテン、ルテイン及びゼアキササンチンからなる群から選択される、請求項16に記載の栄養調製物。

【請求項18】

前記抗糖化剤がカルノシンである、請求項16又は17に記載の栄養調製物。

【請求項19】

前記体脂肪減少剤が、共役リノール酸（CLA）、カルニチン及びアセチルカルニチンからなる群から選択される、請求項16～18のいずれか一項に記載の栄養調製物。

【請求項20】

前記インスリン感受性増強剤が、ピコリン酸クロム、硫酸亜鉛、モノメチオニン酸亜鉛及びブドウ種子抽出物からなる群から選択される請求項16～19のいずれか一項に記載の栄養調製物。

【請求項21】

前記オメガー3脂肪酸が、 α -リノレン酸、エイコサペンタエン酸、ドコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸、亜麻仁、亜麻油、クルミ、カノーラ油、小麦胚芽及び魚油からなる群から選択される、請求項16～20のいずれか一項に記載の栄養調製物。

【請求項22】

クルクミン源が、（1，7-ビス-（4-ヒドロキシ-3-メトキシフェニル）-ヘプター1，6-ジエン-3，5-ジオン；1-（4-ヒドロキシフェニル）-7-（4-ヒドロキシ-3-メトキシフェニル）-ヘプター1，6-ジエン-3，5-ジオン；1，7-ビス-（4-ヒドロキシフェニル）-ヘプター1，6-ジエン-3，5-ジオン）、デメトキシクルクミン及びビスデメトキシクルクミンからなる群から選択される、請求項16～21のいずれか一項に記載の栄養調製物。

【請求項23】

ビタミンE、ビタミンC、アルファーカロテン、ベーターカロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、セレン、リコペン、クロム、ブドウ種子抽出物、亜鉛、CLA、カルニチン、アセチルカルニチン及びカルノシンを含む、請求項16に記載の栄養調製物。

【請求項24】

ビタミンE、ビタミンC、アルファーカロテン、ベーターカロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、セレン、リコペン、クロム、ブドウ種子抽出物、亜鉛、CLA、カルニチン、アセチルカルニチン、カルノシン、魚油及びクルクミンを含む、請求項16に記載の栄養調製物。

【請求項25】

ビタミンE、ビタミンC、アルファーカロテン、ベーターカロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、セレン、リコペン、魚油及びクルクミンを含む、請求項16に記載の栄養調製物。